

- ・日 時：平成 25 年 3 月 21 日 (木) 14:00～17:00
- ・場 所：JGS 会館 地階 A 会議室
- ・出席者：國生、佐伯、小椋、菊池、高橋、坂上、重村、佐々木、伊藤、清木 (西村代理)、沓澤、橋、青木(事務局)
- ・欠席者：石橋、赤木、内藤、石原、太田、齋藤、松島、森川、並河、若井、後藤、竹山

1. 前回議事録の確認

- ・平成 24 年度第 5 回運営委員会議事録 (2/4) 【別紙-1】

→確認した。

- ・平成 24 第 2 回評議員会議事録 (3/4) 【別紙-2】

→議事録の修正については、出席評議員に後ほど連絡することになった。

2. 最近のスケジュール

- ・支部総会：平成 25 年 4 月 22 日 (月) 16:00～

特別講演会「海底をわたる風 -ボスポラス海峡横断鉄道プロジェクト-」今石 尚 (大成建設)

3. 本部からの連絡・検討依頼事項

- (1) 「地盤工学会誌」平成 25 年度読者モニター推薦について 【別紙-3】

→川崎地質から 1 名推薦をお願いすることになった。

- (2) 平成 24 年度「支部事業報告案・収支決算報告案」作成について 【別紙-4】

→[公 1]に、委員会報告書 2 件について記載し、「関東の地盤」については削除。

→国際講演会 2 件についても追記することになった。

- (3) 特別会員・貢献賞の表彰および永年にわたる正会員への感謝状に関するお願い 【別紙-5】

→「永年にわたる正会員への感謝状」については、今年は人数が多いが、来年からは人数が少ないので、来年以降は支部総会で行うことが考えられる。

→今年については、日を改めて行うことにする。特別講演会とあわせて表彰式を行うということが

考えられる。会長も呼び、特別講演会では、初代支部長の石原先生に話をしてもらう。懇親会も行う。

→5/20 or 31 のいずれかに行う (菊池幹事長が日程調整)。

4. 支部からの周知・連絡・検討事項

- (1) 関東の地盤の執筆料支払いについて 【別紙-6】

→来年度予算に執筆料支払いのための費用を計上することに問題はない。

→第 2 版の残部を売り切ったとして、執筆料を支払うことにする。

→本来は、全冊売れなければ支払わないことになっているが、第 2 版は本部からの依頼であり、100 部を寄贈している。今回については、このような特殊事情を鑑み、20 冊ほど残部があるが、これを売り切ったとみなすことにする。

- (2) 来年度の浦安市相談会の件 【別紙-7】

→確認した。関東支部としては、平成 25 年度までしか引き受けられない旨、併せて連絡する。

- (3) 平成 24 年度支部役員体制について 【別紙-8】

→野島幹事 (企画総務 G) については、公募で決まった方なので、現時点では、後任は予定していない。
→会員サービス G の学生幹事 2 名を追加予定 (公募の結果による)。

- (4) 平成 24 年度予算執行状況、決算見込み 【別紙-9】

→確認した。

- (5) 平成 25 年度予算 【別紙-10】

→確認した。備考などで、10 周年の積立金額が分かるようにしておくのが良い。

5. 開催結果、進捗状況の報告

- (1) 行事案内 (2013/02-2013/03) (2/26 配信) 【別紙-11】

- (2) 国際講演会「地盤の評価と地震応答解析 インドの事例紹介」(2/28) 【別紙-12】

(3) 特別講演会「東日本大震災に伴う災害廃棄物の処理について 宮城県石巻ブロック」(3/4)

【別紙-13】

(4) シンポジウム「わが家の地盤は大丈夫？東日本大震災後の地盤情報開示のあり方を考える」(3/6)

【別紙-14】

(5) ボスポラス！ニューオリンズ！ インフラ海外展開における地盤分野の取組み講習会

(本部依頼, 3/14)

→本部からの依頼が最近多いが(上記, (4)(5)など), ご了承いただきたい(菊池幹事長).

(6) 特別講演会「海底をわたる風ーボスポラス海峡横断鉄道プロジェクトー」(4/22)

【別紙-15】

(7) 関東支部 会員サービス G・企画総務 G の幹事公募のご案内

【別紙-16】

→会員サービス Gについては, 学生にもメールで連絡予定.

6. グループ別の実施計画・進捗状況・その他報告事項

(1) 会員サービス G

【別紙-17】

→会員からの声については, 支部ホームページの Q & Aにあるように, 運営委員会を介したフィードバックができるようにする必要がある.

→若手技術者交流会は, 技術者(正会員)同士の交流を目指したものである. 来年度の開催は難しいので, 来年度実施したい.

(2) 茨城県 G ・高校生向け小冊子の印刷予定

(3) 栃木県 G

【別紙-18】

→講演会をとりやめ, シンポジウムの実施に替えることを了承. 県 G の運営委員会メンバーについても了承.

(4) 群馬県 G

(5) 山梨県 G

(6) 千葉県 G

【別紙-19】

→市民向け講座への参加者に何かお土産を渡したい.

→10周年記念グッズの製作を急ぐ必要がある.

(7) 埼玉県 G

(8) 神奈川県 G ・幹事会 3月26日開催予定、報告事項なし

(9) 研究委員会 G

【別紙-20】

→応募テーマ①「地盤工学における除染技術の実用化に関する研究委員会」については, 本部で類似の委員会があり, 全国レベルで議論すべき内容であることから, 新規委員会設立は見送り.

→応募テーマ③「品川お台場直下地盤を東京湾臨海部粘性土層の圧密履歴の原器としての研究委員会」については, 「江戸期以降の～委員会」で取り扱うこととなった. これに伴う委員の増員を検討中.

→「廃石膏ボード」の報告書販売促進費については, 当初, 完売するとの話だったが全く売れないので, 日経コンストラクションなどに広告を出すための費用を出してもらいたい(来年度予算として確保したい)ということだが, まずは, シンポジウムや講習会などを開催して販売促進をすべきであり, 認められない.

→成果普及委員会として, シンポジウムや講習会を開催するのが良い.

→研究委員会が書籍出版をすることが多くなっている. 手に余るので, 書籍出版を主眼に置く委員会については, 新たに担当グループを設立するなどして, そこで担当してもらいたい.

→原則は, 研究委員会の報告書は簡素なものにする. 書籍出版をするのであれば, 適宜要審議.

(10) 支部発表会 G

【別紙-21】

→確認した.

(11) 企画総務 G

【別紙-22】

→確認した.

7. その他

(1) 退会・等級変更届

1級会員の東急建設(株)技術研究所様 (1級から4級へ変更)

(2) 次回運営委員会

平成 25 年 月 日 14:00~17:00 (昨年実績: 6/12)

→日程調整は後日実施する.